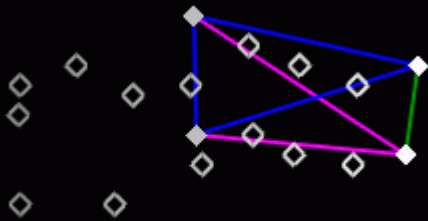


Interval + Pitch (YARN)モード



これはインターバルタイプ（音程）表示に音の高低と時間の概念を付け加えたものです。これをYARN（毛糸）と呼んでいるのは、毛糸玉を巻いているみたいだと言った人がいるからです。

詳細はこちら www.musanim.com/mam/hist21.html

【補足】

参照ページで作者さんも触れていますが、このモードでは垂直方向の音程が見つらいです。というかほとんど見えません。和音というのはだいたい垂直方向に発生するので、見えない部分がとても多いことになります。

でも、曲の流れを見るうえではDYADよりもずっとわかりやすいです。たとえば、不協和音を入れた後にどういう処理をして音を和らげているのか、なんてのは pitch class ではなく pitch を採用しているこちらのモードのほうがはっきり見えます（つまり青い糸がたくさん見える）。